

令和6年度 北海道札幌西高等学校 学校経営シラバス

【基本的な考え方】

- 「北海道教育の基本理念」及び「石狩管内教育推進の重点」を踏まえる
- 生徒、保護者の期待及び地域住民や道民の負託に応える
- 「日本のリーディングハイスクール」を目指す

【スクール・ミッション】

- 1 多様な課題を抱えている生徒が入学している実態にきめ細かく対応し、生徒一人一人が自己の成長を実感できる教育を推進し、「確かな学力」と「豊かな人間性」を育み、社会的自立を図る
- 2 大学や外部専門機関と連携・協働し、生徒の多様な教育ニーズに応じた指導・支援を行い、一人一人の能力を最大限引き出す教育システムを確立し、北海道の夜間定時制高校をリードする役割を担う
- 3 集団生活や特別活動等を通じて、コミュニケーション能力や豊かな人間性を身に付けた生徒の育成
- 4 健康的な生活習慣を身に付け、自ら考え主体的に判断し行動できる生徒の育成

【校訓】

自由 自律 叡智 創造

【学校教育目標】

- 1 自ら考え、自ら学び、自ら鍛える教育
- 2 人間相互の理解と信頼を深め、調和的成長をめざす教育
- 3 責任を重んじ、豊かな社会性と公正な判断力を養う教育

【育成を目指す資質・能力に関する方針】

- 1 既存の知識・技能を関連付けたり組み合わせたりすることができ、社会の様々な場面で活用できる力の育成
- 2 知識・技能を活用しながら問題を解決していくために必要となる思考力、情報を選択し、結論を決定していくために必要な判断力、伝える相手や状況に応じた表現力の育成
- 3 自己の感情や行動を統制する能力、自らの思考のプロセス等を客観的に捉える力、多様性を尊重する態度と互いのよさを生かして協働する力の育成

【教育課程編成・実施に関する方針】

- 1 少人数でわかる授業を実施するとともに、観点別学習状況の評価のためのルーブリックを活用し、生徒一人一人の多様な学習ニーズに応じた教育活動を通し、基礎学力の定着を図る
- 2 「総合的な探究の時間」などの探究活動を通して、コミュニケーションに関する分野や学習能力に関する分野において、各種トレーニングを取り入れながら、あらゆる状況にも対応できる思考力・判断力・表現力等を育成する
- 3 学校行事や生徒会活動など特色ある教育活動等を通して、チャレンジ精神を高め、主体的・協働的に取り組む姿勢を養う
- 4 インクルーシブ教育の理念を踏まえ、多様な体験活動やライフスキルトレーニング等の活用を通し、きめ細やかな生徒観察と教育相談の充実により、基本的な生活習慣を身に付けさせ、自律的に行動する姿勢を養う

【入学者受入に関する方針】

- 1 目標に向かって絶えず努力する生徒
- 2 自分で考え正しく判断し、進んで行動できる生徒
- 3 進路目標実現のための学力を身に付けようとする生徒

【経営方針】

- 1 「学校における働き方改革北海道アクション・プラン（第3期）」等に基づき、ICTを活用した校務処理の効率化や校内組織の活性化及び教職員の学校経営参画意識の高揚を図り、協働体制の確立に努める。
- 2 教職員と生徒、保護者の信頼を基盤に、活力あふれる教育活動を展開するとともに、入学から卒業までの体系的で継続性のある教育活動を展開し、スクールミッションの達成を目指す。
- 3 新たな課題の解決に向け、教育活動のPDCAマネジメントサイクルを確立するとともに、保護者や地域住民の視点や、全国的に優れた教育実践等を参考にするなど、教育活動の改善・充実に取り組む。
- 4 育成を目指す資質・能力をバランスよく身に付けさせる学習活動を充実させるとともに、自己の在り方生き方を考えさせながら、よりよく課題を発見し解決していくための資質・能力を育む探究的な学習を充実させる。

【重点目標】

- 1 主体性や社会性を育む教育活動の充実
（重点事項1）系統的なライフスキル教育の推進
 - 日常で生じるさまざまな問題や要求に対して、建設的かつ効果的に対処するために必要な能力であるライフスキルを身に付ける教育を系統的に実施する。
（重点事項2）生徒の多様な分かり方を活かす授業づくり
 - 多様な学習歴のある生徒一人ひとりが理解しやすい指導方法や指導形態を研究・工夫して、生徒のできる、わかる喜びを実感できる授業づくりを推進する。
- 2 基礎的・基本的な学習内容の確実な定着
（重点事項1）個に応じた指導の充実
 - 授業の中で一人一人の生徒の実態に応じ個別指導やグループ別指導、繰り返し指導、TT指導など指導方法や指導体制を工夫・改善し、生徒の個に応じた学習ニーズに適応した指導を推進する。
（重点事項2）特別な支援を要する生徒へのきめ細かな対応
 - 学習面や行動面あるいは対人関係に困難を抱えている生徒一人一人の実態を正確に把握し教職員間の情報の共有化に努め、一人一人に対応した、きめ細やか指導と支援を充実させる。
- 3 カリキュラム・マネジメントの視点を重視
（重点事項1）学習指導要領の趣旨を生かした教育課程の編成・実施
 - 「よりよい学校教育がよりよい社会をつくる」との理念と「社会に開かれた教育課程」を実現するという新しい学習指導要領の趣旨を生かした教育課程の編成・実施する。
（重点事項2）観点別学習評価の充実
 - 学習指導要領の規定に沿って作成された評価規準に基づいて学習状況を分析的に捉える「観点別学習状況の評価」を充実させ、生徒の学習の改善と教師の指導の改善に生かす。
- 4 開かれた学校づくり
（重点事項1）PTAや学校評議員など関係団体等との連携
 - 学校評議員に対して教育方針や特色ある教育活動、学校評価などについての意見の把握し、教育活動の改善を進める。また、様々なPTA活動やホームページ等を活用した広報活動を通して、生徒の状況や教育活動の現状について情報発信し理解や協力を得る。さらに輔仁会、PTAなどの支援団体から生徒の教育活動に対する支援体制を確立する。
（重点事項2）法令遵守と説明責任の徹底
 - 法令や通知等を遵守するとともに、家庭、地域への十分な情報提供を行い、信頼される学校づくりを推進する。